



広野ゆうじの

コッコちゃん通信



議 会 報 告

発行者／広野ゆうじ事務所 雲南市木次町寺領275番地
TEL 0854-42-2524 FAX 0854-42-3214 携帯 090-1687-5616
メールアドレス y-hirono@bs.kkm.ne.jp ホームページ <https://hironoyuuji.jp>



令和7年度9月 一般会計補正予算

321億4,918万円（補正額 4億5,000万円増）
（対前年度 29億9,682万円減）

主な予算

雲南圏域廃棄物処理施設整備準備事業 594万円（補正後 738万円）
（次期一般廃棄物処理の在り方の再検討に係る委託料）
有害鳥獣捕獲奨励事業 2,226万円（補正後 6,416万円）
（捕獲頭羽数見込み増による報奨金の増額、緊急銃猟対応（クマ等対策）に伴う物件費）
就業環境等物価高騰対応支援事業 1,530万円（新規）
（物価高騰の影響を受ける事業者の就業環境等改善支援）
国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会事業 1,281万円（補正後 1,389万円）
（木次艇庫をソフトボール屋内練習場へ整備）

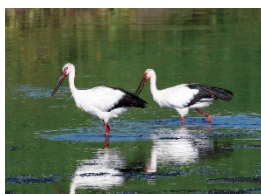
令和7年9月定例会開会 令和6年度決算を認定

令和7年9月定例会が9月4日から26日間の会期で開催されました。条例その他11件、予算5件、認定7件、諮問4件、報告8件が上程され、慎重審議の結果、原案通り可決・認定しました。又、請願1件、陳情2件が提出され、陳情1件は、全会一致で採択し、もう1件は、継続審査となりました。請願1件は、賛成少数で不採択としました。さらに、議員発議1件が提出され、全会一致で可決、意見書を国会及び政府に提出しました。

「市の鳥」を 「コウノトリ」を



今定例会の市長の施政方針において、市のシンボリックな存在になっている「コウノトリ」を「市の鳥」に指定するための準備を始めるとの方針が示されました。市の花である「桜」、市の木である「イチヨウ」に続いての指定の方向性であり、大変喜ばしいことと思います。「幸せを呼ぶコウノトリ」いわれている通り、「えすこな雲南市」「幸せな雲南市」を目指し、様々な課題の克服もあるかと思いますが、民間の活力も十分利用して、推進していかねばならないと思います。



請願1件、陳情2件、 議員発議1件提出

請願 「選択的夫婦別姓制度導入を求める意見書の提出についての請願」

結果：賛成少数により不採択

陳情 「家畜伝染病発生時の防疫対応についての陳情」

（高病原性鳥インフルエンザが発生した場合の汚染物品の処分を、現在再検討されている次期一般廃棄物処理施設で処分するよう陳情）

結果：教育民生常任委員会にて継続審査

広野ゆうじの 一般質問



一般質問
アーカイブ



質問1 農業における 危機管理について

問 農業におけるリスクは、猛暑、渇水、洪水、土砂崩れ等があり、鳥獣被害もある。また、畜産では、家畜伝染病等があり、これらの危機管理についてどう対応し、今後どのように考えていくか伺う。

答 渇水対策については、緊急的にポンプ、発電機の借り上げ、購入助成を行った。カメムシ対策については、告知放送による啓発を行った。稲の高温耐性品種の選定については、試験中で、米の市場の状況を踏まえながら、どのように進めていくか検討中。鳥獣被害について、イノシシは、

陳情 「木次方面隊西日登分団の集約型格納庫整備についての陳情」
（被災した設備で、消防団活動している部もあり、早急に集約型格納庫が必要）
結果：全会一致で採択
議員発議 「選択的夫婦別姓制度の議論の促進を求める意見書」
結果：全会一致で可決

質問2 最低賃金の 上昇について

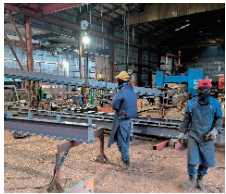


（尾原ダム…渇水期に広範囲の農業用水等に貢献した）

等行っている。今後も、養鶏農家の実情を把握し、万が一発生した場合の処分方法も含めて検討する。

問 島根県の最低賃金は、昨年より71円上乗せされ、1,033円となった。これまでの支援策の効果と、今後、全国平均1,500円となることが想定される中、どのように考えているか伺う。

答 中小企業者等物価高騰対応支援事業により、約80%を超えた予算執行率となっており、一定の効果が生じていると認識している。補正予算では、就業環境の改善に向けた支援を上程しており、国、県の支援策の周知や関係機関と連携した取り組みを行う。賃金上昇に対する中小



企業への支援策は、まずは国が考えるべきものであるが、今後、支援がなくてもできる環境をどう作るかは、国、県に対してしっかり声を上げていく。

質問3 学校の在り方について

問 市長は、学校の在り方について、地域の拠点、少人数教育の利点、交付税メ리트等を述べられ、積極的に統合することをおっしゃる。将来の世界を担ってゆく子供たちを育てる教育の在り方、無限の可能性を引き出す教育は、ある程度以上の集団での教育が必要と考えるが、市の見解を伺う。また、設備面における学校の魅力化をどう考えられるか伺う。

答 義務教育は、優秀な子供をさらに伸ばすよりも、学習が苦手な子供を含め、すべての子供に一定水準の学力を身に付けさせ、人生の土台を作ることが重要と考える。地域や保護者の意見を尊重しながら、地域と共にある学校づくりを進めていく。少人数と多人数教育による学力差はないものとして認識しており、むしろ、メディア接触時間との相関関係は出ているが、確かではない。今後、



質問4 次期一般廃棄物処理について

研究していかなければならない。学校の施設は、児童生徒の学習・生活の場として、また、教職員の働く場として重要で、多様な学び方に対応する環境を整備し、学校の魅力化につなげていく。猛暑に対する対応は、普通教室にエアコンを設置し適切に稼働しているが、ところどころ故障があり、修理している。体育館のエアコンは、その目的、手法、コストを十分検討した上で、方針を考える。製氷機の利用は、現在、保健室で利用している。(体育館で直ぐ冷やせる対応のために、製氷機の設置を要望しました。)

問 本年5月に次期一般廃棄物処理について、財政上の理由から、再検討することを表明された。一般廃棄物の処理は、最終処分が終了するまで適正な処理を市の責任において確保しなければならぬとされている。毎年繰り返される災害ごみの対応や、民間委託した場合の、火災、災害、業務停止、倒産等のリスクに対応した対策が必要と考えるが、市の見解を伺う。

答 災害廃棄物については、その規模等により、処理が困難になった場合は、県及び県内市町村で締結している相互応援協定に基づき応援要請や民間業者への処理委託を想定している。今後、広域的な連携を検討する。

民間委託した場合のリスクは、倒産以外は自前施設でも一緒にあり、有事の体制を構築していく必要があると考える。将来にわたって、安定的、継続的にごみ処理が実施できることは重要な視点であり、その視点を持ちながら再検討を行う。(リスク分散という意味からも、自前で処理施設を持つべきだと思う。)

※(一)内は、私の意見を述べたものです。



スマート農業、道の駅など視察

◎2025年7月1日
島根原子力発電所視察

島根原子力発電所敷地及び、建屋の内部を視察しました。エネルギー政策の在り方、安全面の確認、雲南市のかかわり方等、勉強しました。原子炉を見た時、意外とコンパクトと感じました。

◎2025年7月7日～9日

新潟県三条市視察

伝統の技と先端技術が調和する金属産業都市の視察をしました。冬は、雪深い地域の中で、しっかりと地場産業が引き



継がれており、行政がしっかり支える体制ができています。雲南市の参考になることがたくさんありました。

新潟県上越市視察

大規模水田農業・スマート農業に関する視察をしました。大規模農業にも、様々な課題があり、中山間地農業でも、一定以上の集約化とスマート農業の導入、地域の創意工夫等で、上越市に負けない農業ができるのではないかと感じました。

富山県射水市視察

空き家対策とまちづくりについて視察しました。空き家対策には、まず、「予防対策」に力を入れておられ、空き家に対する対応は、不審者の侵入や衛生問題等に加え、防災面も考えた対応が必要、又、住民が納得できる対応が必要と感じました。

◎2025年8月18日

道の駅 掛合の里

雲南市の道の駅は4か所あり、どこも、様々な課題を抱え運営されています。交流人口、関係人口、そして、地域の拠点としての道の駅の在り方を考えていかなければならないと感じました。

雲南市掛合酒造資料館

日本酒発祥の地ともいわれる雲南地域の大切な資料館です。現在、(株)田部竹下酒造が、独自の使用をされていますが、産業観光資源として、民間の活力を生かしながら発展させていきたいものです。

編集後記



10月に入り、やっと朝晩が涼しくなりました。7月から8月は、市政懇談会4か所、雲南市内の夏祭り6か所にお伺いし、市内全体の市民の皆様のお困りを感じることができました。令和7年9月定例会は、決算の認定が中心の議会、令和6年度の本会計や、特別会計、病院等の事業会計を見ることができました。財政指標の1つである実質公債費比率は、単年度で10・2%、3年平均で、11・1%と前年より改善しております。これも市民の皆様のご理解と執行部の始めとした職員の皆様のご努力の成果と感謝しております。今後、学校の改築、交流センターの改築等大型プロジェクトが計画されており、近い将来市債発行に協議が必要となる18%を超える推計も示されています。健全な財政運営がなされるよう、議会としてもしっかりと注視していかなければなりません。10月には、総理大臣も変わり、国の施策の動向をよく見ながら、常に柔軟に雲南市の施策の改善を促し、今後も、「えすな雲南市」「幸せな雲南」が継続できるような頑張っていきたいと思っています。

廣野祐二